

令和2年度事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人

鳥取県障害者就労事業振興センター

1. 事業の概要

障がいのある方が働くこと通して、地域で安心して暮らすために必要な所得の向上が図られるよう、就労継続支援事業所への就労支援事業促進等のサポートを行った。また、関係団体・企業等とのネットワークの構築を図り、官公需・民需の共同受注窓口として受注斡旋調整の実施や、SDGsを取り入れた農福連携地域づくりモデルとなる事業の取り組みを行った。

〈主な活動内容〉

- ①就労系事業所の総合相談窓口機能を強化し、個々の相談案件の対応。
- ②事業所の経営基盤安定と人材育成のための活動。
- ③共同受注窓口機能の充実と障がい者の就労収入増につながる活動。
- ④障がい者の就労促進のため、事業所紹介や事例等幅広く広報活動。
- ⑤地域との連携を図り、ネットワーク化に向けた活動。
- ⑥将来を見据えた事業展開を検討するための調査研究活動。

2. 事業の成果

事業所からの相談にワンストップで対応する総合相談窓口機能を充実させ、それぞれの相談案件に対し、センタースタッフ及び関係機関等と協力し対応した。また、年度当初予定していた事業所訪問は新型コロナウイルスの影響にて訪問できない事業所もあったため、事業所基本情報（現況）及び新型コロナウイルス影響等の調査を書面にて実施した。回答のあった情報と過去の情報をデータ集計し、それを元に事業所ごとの傾向と対策を立て、要望のあった事業所にはサポートを行った。

研修に関しては、オンライン研修を中心に事業計画作成、地域連携、会計研修等を実施した。実践に活用できる内容であったこと、オンラインにて移動距離がなかったことなどから例年より参加人数が多かった。また、オンライン研修の実績から、他団体からオンライン研修設定等の業務依頼を受けるなど、ネット環境の整備やオンラインに関する助言等についても事業所のサポート体制が整えることができた。

また、新型コロナウイルスの影響調査より約7割の事業所が売上が減少したと回答があり、収入確保の対策として、商品販売についてはリモートによる販売、チラシ販売等企画実施やInstagram等SNSを活用した商品情報等の発信を行った。さらに試験的ネット販売（oluolu）を開設し、それに対応できるよう商品PRの仕方や写真の撮り方等サポートした。

受託作業については一般企業もコロナの影響を受けているため、積極的な営業はかけられなかったが、行政等と連携し受注量の確保、作業斡旋調整を行った。さらに衛生環境改善の啓発行い、設備整備に伴う助成金申請等サポートした。

共同作業場ワークスペースとっておりにおいてもコロナ禍で既存企業からの受注量が激減し、前年

対比 69%となったが、鳥取県マスク製造(封入)作業委託により年間目標達成ができ、月平均支払工賃も前年比 120%となった。また、コロナ感染拡大防止の対応として助成金を活用し衛生管理等設備を整備した。

3. 事業の実施に関する事項

(1) 理事会・総会の開催

①総会の開催

定期総会：総会を開催とみなした日：令和2年6月19日

議案：令和元年度事業報告、令和2年事業計画等

* 書面による、みなし総会の開催

②理事会の開催（全5回開催）

1回目：令和2年5月28日（総会議案内容について）

2回目：令和2年6月17日（会長、副会長互選）

3回目：令和2年8月11日（R2事業進捗状況、R3度事業計画について）

4回目：令和3年1月29日（同上）

5回目：令和3年3月30日（R3事業計画、総会開催方法について等）

<参考> 令和2年度会員数：95カ所

事務局体制：11名（職員）*2021年3月31日現在

(2) 実施事業内容

I. 自主事業

①総合相談窓口機能の強化

・事業所からの相談にワンストップで対応する総合相談窓口機能を充実させ、それぞれの相談案件に対し、センタースタッフ及び関係機関等と協力し対応をした。

・相談案件（事業所） 109 件

運営組織に関すること

就労支援に関すること

その他（コロナ対策助成金等新型コロナウイルス関連）

・相談案件（企業等） 28 件

作業発注について（封入作業、商品製造依頼、イベント景品、除草作業等）

商品斡旋について（イベント景品、店舗販売）

取材依頼（事業所紹介等）

②共同による事業

・よりよい暮らしのために 2021 年版（企画制作委員会企画）

発行部数：6,050 部

販売：福祉の店 5 店舗、今井書店グループ各店舗他

・県庁売店販売会（延べ 35 事業所）

ローテーションにより販売（1 日 1 事業所）随時

・複数の事業所商品を合同で販売するオンラインショップ（oluolu）を開設

・大山どりびっくり市販売促進チームによる事業

*新型コロナウイルスの影響にて、びっくり市開催中止となる。再開後も他団体出店は未実施となり、年度内出店はできなかった。

③情報の発信

- ・定期的メールにて情報配信（月2回程度）
助成金情報、研修会等案内、その他就労支援事業等に関する情報等
- ・ホームページ等更新（随時）
- ・Instagram 開設し、事業所商品等の情報を発信
- ・日吉津イオンモール常設ラック（地域活動広報）にて、会員事業所パンフレット等配置

④調査研究事業

- ・事業所の情報等をまとめ、課題整理を実施。令和3年度鳥取県事業に事業提案を行った。
- ・各県の振興センター（セルフセンター等）と情報交換を行い、課題等共有を図った。
今後、全国各地の振興センターの横のつながり強化のためネットワーク協議会発足等について協議を行った。

⑤講演会・研修会の開催

*開催せず（5月総会時に開催予定であったが新型コロナウイルスの影響により中止）

II. 障がい者のはたらき・自立のための工賃向上事業 【鳥取県委託事業】

①総合相談窓口機能

- ・センタースタッフと事業所とこまめな連絡体制を整えて信頼関係を持てるよう進め、何でも相談できる体制を整えた。相談後、訪問等にて詳細を確認し、必要に応じて継続的にサポートやフォローアップを行った。また、センタースタッフで対応できない案件は専門機関への相談や専門家を派遣した。
- ・コロナの影響の中、仕事依頼対応には企業とのマッチングを図ると共に、アフターコロナを見据えた営業や事業運営の仕方について助言や協力者に繋いだ。

②事業所情報収集及びデータベース化、対応策の検討

- ・事業所調査表による情報収集
- ・情報を元に事業所別工賃推移表の作成
2012年～2019年まで情報を、事業所単位にデータベース化。それを元に傾向と対策を立て、個別支援を行った。

③事業所の事業区分（類型）に沿ったサポート

- ・個々の事業所の課題や目標達成等に向け、事業所類型に沿い以下のサポートを行った。

事業所の類型	主なサポートの内容
自主的な事業展開により工賃向上に向かっている事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の分析（原価計算等計数管理等）、中長期計画作成 ・販路受注拡大、事業開拓及び商品開発 ・商品情報収集とSNS等活用した情報発信 ・コロナ禍における、販売機会の提供（チラシ頒布販売、ホームセンター販売等） ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたオンラインショップ出店に向けたサポート ・研修会の実施及び専門家の派遣
共同作業場等の施設外就労及び高単価受託作業により、工賃向上を目指す事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等からの受注作業の斡旋・調整 ・品質管理及び売上等の進捗状況を共有し受注量確保を行う ・企業等の契約等の見直し ・衛生管理強化（新型コロナウイルス対策）のため設備整備のための助成金活用等サポート
その他の事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開設事業所ヒヤリング訪問

	<ul style="list-style-type: none"> ・希望される事業の現状把握及び課題整理の支援（月次確認） ・全国事例の紹介や利用者の特性に応じた作業のアセスメント、作業工程等作成について助言 ・工賃支払い規定等見直し ・就労支援事業会計研修の実施と会計フォーマットの提供、活用サポート
--	---

④専門家による事業支援

- ・派遣事業所：16 事業所
- ・派遣方法：訪問及び ZOOM 会議を活用したオンラインにて実施

<主な派遣内容>

- 店舗運営に関すること
- パン製造技術習得について
- 新規商品の販路拡大（商談等対応）について
- SNS 等での商品広告の仕方について
- 作業アセスメント、工賃支払い規定の整備について
- 利用者の作業工程及びスタッフの体制について

⑤共同受注窓口機能の強化

【官公需、民需調整等】

- ・行政等の受発注斡旋のため情報収集を行い、コロナの影響下の中、商品斡旋や受注調整を行った。
- ・商工会議所等との情報交換を行い、コロナ対策を含め地域連携可能な事業については事所への情報提供を行うと共に個別案件で対応した。
- ・チラシ頒布販売(無店舗販売)を企画し、センターが複数の事業所製品を取りまとめて販売。

⑥研修会の実施

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催に切り替えて実施した。逆にオンラインで実施することで、移動の距離や時間が短縮できるなど例年より参加者の増や今まで参加されない事業所の参加もあった。
- ・セミナー実施後、フォローアップを実施した。

【ZOOM 座談会の実施】

- 開催日：令和 2 年 7 月 7 日（オンライン開催）
- 参加者：17 事業所 14 名
- 内容：ZOOM 会議システム活用について、オンラインによる情報交換の仕方について

【A型事業所向け賃金向上研修】

- 開催日：令和 2 年 7 月 22 日（オンライン開催）
- 参加者：7 事業所 9 名
- 内容：5 つの視点＝経営改善

【B型事業所向け工賃向上研修】

- 開催日：1 回目（8 月 19 日）2 回目（9 月 16 日）東中西部 3 会場+オンラン開催
- 参加者：49 事業所 73 名
- 内容：工賃向上研修～5 つの視点＝経営改善

【就労事業会計を基とした会計管理研修】

- 開催日：令和2年12月10日（オンライン開催）
 参加者：32事業所41名
 内容：就労支援事業会計処理基準の概要及び日々の数字管理について
- 【工賃日本一事業所ネットワーク協議会連絡会の開催】
 開催日：令和2年7月30日、令和3年1月22日（オンライン開催）
 内容：参加事業所のコロナ禍における事業状況と対応策等参加事業所との情報交換
 参加者：工賃日本一ネットワーク協議会メンバー8事業所
- 【事例報告会&ミニ勉強会】
 開催日：令和3年3月4日（オンライン開催）
 内容：事例報告「コロナ禍の中、障がい者の収入向上に向けての取り組みについて」
 ミニ勉強会「令和3年障害福祉サービス事業所報酬改定について」
 参加者：58事業所96名

Ⅲ. とっとりモデルの共同受注体制（鳥取県委託事業）

①共同作業場の運営管理

- ・帳票等整備及び運用
 高品質作業を担保するため、成果物の品質向上に向け既存の帳票類を整備し、作業場内の運用を徹底した。
- ・環境整備
 害虫を発生させないため、除草剤散布による雑草の除去
 作業室内の防虫・防鼠対策として業者による定期検査の実施
 新型コロナウイルス感染防止対策として、配置替え、入室ルールの徹底
 不特定多数が接触する部分へ抗菌コート剤を塗布
 空気清浄機及びオゾン発生器にて作業室内の感染防止対策を実施
- ・安全管理
 消防署の検査指導により避難訓練を実施（2回）
 HACCAP 導入支援講習受講
 新型コロナウイルス感染予防対策（マニュアルに沿った対応）
 警備会社によるセキュリティー定期検査実施
 預かり物損害補償の保険加入

②企業との調整

- ・既存取引先担当者と密に連絡調整を行い主力3社中心に受注数量確保を行った。
- ・新規取引3社の取引を開始。その他新規取引に向け営業を行った。

③事業所との調整

- ・参加事業所数及び参加人数：8事業所、1日平均27名
- ・作業稼働時間：1事業所3～5時間の実施

<主な調整内容>

事業所参加人数の把握と生産計画の調整
 各作業案件の作業手順、生産数量、作業賃についての説明と製品の仕上がり確認
 帳票類が正しく運用状況の確認と、製品不良数確認
 各事業所の作業工程で苦手な箇所については再発防止の指導
 目標工賃に対する意識向上と生産性と品質向上を図る

④外注事業所との調整及び管理

- ・ワークコーポととっとり外での作業（事業所持ち帰り作業）の調整
- ・新型コロナウイルスの影響で受注数が減少したため、外注事業所への仕事の適性を確認しつつ、生産数の確保を行った。

<主な調整内容>

- 納期・品質・生産体制等の調整
- 作業工程・手順、生産数量、作業賃等の確認・調整
- 不良発生時への対応と再発防止の徹底

IV. 地域づくり農福連携事業事業（鳥取県委託事業）

①地域づくり農福連携モデル事業

【ヒヤリング訪問】

- ・訪問件数：19 件
- ・訪問目的：農福連携の可能性を探るため、現状と問題点等の確認
- ・内容：訪問、オンラインによる確認

【専門家の派遣】

- ・派遣事業所数：7 事業所
- ・派遣方法：訪問及びオンラインによる派遣

<主な派遣内容>

- 農業を含む就労支援中長期計画
- 農産加工品商品化のアイデア出し、6次化商品の開発について
- 商品の販路見直しと、ターゲット設定
- 食品加工事業の可能性について、助成金申請に向けた事業提案アドバイス
- 耕作放棄地を活用した農産物栽培と食品加工事業展開

②地域連携コーディネート

【SDGs × 農福連携ワークショップの開催】

開催日：令和3年2月17日（オンラインにて実施）

内容：テーマ「障がい福祉事業所商品から地域ブランドづくり」

参加者：9事業所＋2企業 計14名

【地域ネットワークの形成】

- ・事業所間連携：ZOOMによる連絡会を実施（事業所のみ案内）
- ・企業・地域ネットワーク：マルシェ開催に向け、地域団体、企業と連携し企画実施
- ・米子高専との連携：学生対象に講義を実施し、今後の連携あり方等検討

③ごきげんマルシェの開催

【ZOOMを使ったオンラインマルシェの実施】

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の各圏域会場での開催ができず、代替え案としてオンラインマルシェを企画実施した。

開催時期：令和2年8月、9月、11月、令和3年2月 計4回

開催方法：ZOOM会議システムを活用したオンラインで実施

【ごきげんマルシェ in とっとり花回廊の開催】

開催日：令和2年9月19日、20日

会場：花回廊のヨーロッパガーデン

出店事業所：10 事業所

・ごきげんマルシェ with 童里夢

開催日：令和3年3月7日

会場：道の駅気楽里

出店事業所：8 事業所

④販売力、商品力向上支援

【研修会開催】

テーマ：売れ続ける商品づくりセミナー

方法：YouTube 配信による限定公開

視聴期間：令和3年2月24日（水）～3月6日（土）

内容：売れる商品に必要なこと（食品表示等コンプライアンス、アピールポイント等）
地元食材を利用した農福連携商品開発。事例から学ぶ、売れ続けるための方程式等

累計視聴回数：64 回

【商品ブラッシュアップの支援】

方法：マルシェ出店事業所に対して個別支援の実施

実施日：令和3年3月7日、8日（2日間）

実施事業所 5 事業所

財産目録
令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター
(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
手元現金		101,100		
普通預金	鳥取銀行米子支店	35,278,285		
通知預金	ゆうちょ銀行	1,873		
売掛金	(株)マルイ、山下電機(有)他	2,436,212		
未収金	(株)戸信	3,216		
棚卸資産	冊子	100,509		
前払金	(株)マルイ地研サービス家賃他	258,400		
立替金	給料源泉料立替金	26,725		
流動資産合計			38,206,320	
2. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
建物	鳥取市商栄町403番1 515㎡	1,948,272		
構築物	鳥取市商栄町403番1 付帯工事	107,349		
什器備品	エアコンプレッサー1台、シーラー2台他	963,143		
建物付属設備	給排水電気設備工事、衛生設備他	1,786,220		
有形固定資産計		4,804,984		
(2) 無形固定資産				
無形固定資産計		0		
(3) 投資その他の資産				
敷金	鳥取事務所敷金	750,000		
投資その他の資産計		750,000		
固定資産合計			5,554,984	
資産合計				43,761,304
II 負債の部				
1. 流動負債				
買掛金	事業所仕入代	605,980		
未払金	事業所作業代、電話料他	6,421,489		
未払消費税等		3,402,200		
未払法人税等		649,400		
流動負債合計			11,079,069	
2. 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				11,079,069
正味財産				32,682,235

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	35,381,258	
売掛金	2,436,212	
未収金	3,216	
棚卸資産	100,509	
前払金	258,400	
立替金	26,725	
流動資産合計		38,206,320
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	1,948,272	
構築物	107,349	
什器備品	963,143	
建物付属設備	1,786,220	
有形固定資産計	4,804,984	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金	750,000	
投資その他の資産計	750,000	
固定資産合計		5,554,984
資産合計		43,761,304
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	605,980	
未払金	6,421,489	
未払消費税等	3,402,200	
未払法人税等	649,400	
流動負債合計		11,079,069
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		11,079,069
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		14,402,498
当期正味財産増減額		18,279,737
正味財産合計		32,682,235
負債及び正味財産合計		43,761,304

活動計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	1,970,000	
賛助会員受取会費	10,000	1,980,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	10,000	10,000
3. 受取助成金等		
受取地方公共団体助成金	2,300,000	
受取助成金	15,820,000	18,120,000
4. 事業収益		
売上高	146,204,004	
手数料収入	54,355	
受託料収入	51,714,909	197,973,268
5. その他収益		
受取利息	375	
雑収益	83,214	83,589
経常収益計		218,166,857
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	30,151,248	
法定福利費	4,860,875	
退職共済掛金	420,000	
通勤費	920,000	
福利厚生費	115,786	
人件費計	36,467,909	
(2) その他経費		
期首棚卸高	78,264	
仕入高	112,394,261	
外注費	23,082,152	
材料費	44,847	
合計	135,599,524	
期末棚卸高	△ 100,509	
売上原価	135,499,015	
業務委託費	751,796	
諸謝金	4,181,500	
印刷製本費	408,749	
会議費	260,336	
旅費交通費	324,720	
燃料費	724,722	
通信運搬費	1,705,745	
消耗品費	2,659,778	
修繕費	298,100	
水道光熱費	887,837	
地代家賃	3,262,719	
貸借料	3,817,540	
減価償却費	1,610,030	
保険料	190,030	
租税公課	4,993,200	
研修費	43,138	
負担金支出	84,400	
支払手数料	5,460	
渉外費	51,482	
販売促進費	331,626	
新聞図書費	70,550	
販売手数料	59,390	
設営費	55,000	
雑費	6,073	
その他経費計	162,282,936	
事業費計		198,750,845
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	336,384	
法定福利費	56,687	

	人件費計	393,071		
(2)	その他経費			
	印刷製本費	8,185		
	旅費交通費	5,900		
	燃料費	2,540		
	通信運搬費	41,635		
	消耗品費	15,371		
	租税公課	51		
	支払手数料	9,900		
	雑費	9,488		
	その他経費計	93,070		
	管理費計		486,141	
	経常費用計			199,236,986
	当期経常増減額			18,929,871
III	経常外収益			
	経常外収益計			0
IV	経常外費用			
1.	その他経常外費用			
	雑損失	734	734	
	経常外費用計			734
	税引前当期正味財産増減額			18,929,137
	法人税、住民税及び事業税			649,400
	当期正味財産増減額			18,279,737
	前期繰越正味財産額			14,402,498
	次期繰越正味財産額			32,682,235

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によつています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物及び構築物は定額法により計算しています。
- ・建物附属設備は平成28年3月31日までに取得したものは定率法、平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法により計算しています。
- ・その他の固定資産については定率法により計算しています。

(2) 消費税等の会計処理

税込経理により処理しています。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 事業費の内訳

別紙 資料

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

該当なし。

5. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	2,300,200	0	0	2,300,200	351,928	1,948,272
建物付属設備	3,400,164	0	0	3,400,164	1,613,944	1,786,220
構築物	378,000	0	0	378,000	270,651	107,349
什器備品	1,708,806	1,798,940	0	3,507,746	2,544,603	963,143
機械・装置						0
無形固定資産						0
投資その他の資産						0
敷金	750,000	0	0	750,000	0	750,000
合計	8,537,170	1,798,940	0	10,336,110	4,781,126	5,554,984

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、従事割合に基づき按分しています。

令和2年度 役員名簿

特定非営利活動法人鳥取県障害者就労事業振興センター

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
会長	廣田 和幸		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
副会長	清水 文人		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
理事	中井 恭子		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
理事	足立 博文		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
理事	阿部 功平		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
理事	福美 誠人		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
専務理事	濱田 和弘		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
監事	穂田誠一郎		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無
監事	山崎 一彰		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	無

令和2年度 会員名簿

	作業所名
東部	1 かめの会作業所
	2 白兔はまなす園
	3 障害者福祉センター あさひ園
	4 明日葉
	5 ウイズユー千代作業所
	6 うぶみ苑多機能型事業所
	7 えがお株式会社
	8 さくら工房
	9 すずかけ
	10 Studio-E
	11 とっとり未来
	12 789作業所
	13 特定非営利活動法人のぞみハウス
	14 ぱにーに
	15 特定非営利活動法人 ひつじの会
	16 フェリス
	17 ふたば作業所
	18 フレンドシップ
	19 松の聖母サポートセンター
	20 NPO法人 夢ハウス
	21 就労支援センター 和貴の郷
	22 季の風ふくべ
	23 ワークサポートひといろ
	24 サンワーク
	25 障がい者活動支援センター絆縁
	26 ねっこ作業所
	27 おじぎそう
	28 あゆみ工房
	29 カナリヤホーム
	30 アクア
	31 はまむら作業所
	32 どんぐりこ
	33 岩美かたつむり工房
	34 若ざくらふれあい作業所
	35 就労継続支援事業所パレアナの家
	36 たんぽぽ
	37 サンサンファーム元輝
	38 夢工房こばちゃん
	39 智頭作業所
中部	40 コミュニティハウス楽
	41 ポン・チャンス
	42 もなみ
	43 ライトピア
	44 つつじ作業所
	45 ワークサポートあしたば
	46 向山ブルースカイ
	47 合同会社ふれあい
	48 障がい福祉サービス事業所はーとびあ創造
	49 フレンズ
	50 東伯けんこう
	51 琴浦ふれあい事業所
	52 ぱにーに湯梨浜店
	53 ハッピーバーディ
	54 そるて
	55 げんき工房

西部	56 あかり広場
	57 あおぞら
	58 あんず・あぶりこ
	59 ワーキングプレイスサンライズ
	60 支援センターる・しえる
	61 つゆくさ
	62 もみの木作業所
	63 淀江作業所
	64 米子ワークホーム
	65 リヴよどえ
	66 ワークショップ・アクティブ
	67 NPO法人ワークセンターしんらい
	68 ワークなざら
	69 しんしあよなご
	70 よなご大平園
	71 レゴリス幸伸
	72 ワークセンターほほえみ
	73 さくら事業所
	74 聴覚障害者就労継続支援センターふくろう
	75 エポック翼
	76 あそしえ
	77 カフェ&ギャラリーゆい
	78 San-Fuku
	79 支援センタークローバー
	80 就労支援センター ひまわり倶楽部
	81 SOI STANCE
	82 みらいず
	83 F&Y境港
	84 お菓子とパンの店 えびくる
	85 まつぼっくり事業所
	86 まほろば
	87 いちごの広場
	88 ストーク作業所
	89 YSSだいせん
90 わかとり作業所	
91 就労継続支援B型事業所 ほたる	
92 伯耆みらい	
93 就労継続支援B型事業所 江美の郷	
94 AVENIR 幸照	
地活	95 地域活動支援センターひまわり